

■ 研究推進委員会 2023 年度 活動報告書

提出日：2024 年 3 月 25 日

名 称	日本庭園の「こころ」と「わざ」に関する研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：栗野 隆（東京農業大学） 連絡先 e-mail アドレス：t3awano@nodai.ac.jp
幹 事	氏名（所属）：張 平星（東京農業大学） 連絡先 e-mail アドレス：hc207185@nodai.ac.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 寺石隆一（日本造園組合連合会） 井上花子（日本造園組合連合会） 山田拓広（日本造園建設業協会） 藤吉信之（日本造園建設業協会） 高橋康夫（日本庭園協会） 小沼康子（日本庭園協会） 井上勝裕（京都府造園協同組合） 小林大祐（京都府造園協同組合） 吉村龍二（環境事業計画研究所） 井原 縁（奈良県立大学） 加藤友規（京都芸術大学・植彌加藤造園） 福井 亘（京都府立大学） 水内佑輔（東京大学演習林） 小池辰典（北海道大学）
今年度 活動報告 成果	<p>1. 日本造園学会誌における特集での成果公開</p> <p>「ランドスケープ研究」第 87 巻第 2 号において、「日本庭園の継承と発展」と題した特集が掲載された。本特集では、編集委員会委員でもある水内佑輔と上田裕文、ゲストエディターとして栗野隆が加わった。記事の構成は日本庭園の「こころ」と「わざ」に関する研究推進委員会メンバーで検討し、執筆も担当した。構成員が担当した記事は以下のとおりである。</p> <p>論説</p> <ul style="list-style-type: none"> 井原縁・福井亘・竹田桃子・小池辰典・水内佑輔「日本造園学会学会誌における日本庭園研究のレビュー（1925-2022）」 張平星・福井亘「作庭記と園冶の世界」 加藤友規「日本庭園のフォスタリングーマネジメント・人材育成」報告 栗野隆「日本庭園の『わざ』（伝承造園技術・技能）とは何か？」 井上勝裕「石の仕事」 高橋康夫・小沼康子「水の仕事－東京都立の文化財庭園に見る池泉の『わざ』」 山田拓広・藤吉信之「木の仕事」 寺石隆一・井上花子「竹の仕事」 吉村龍二「文化財庭園保存技術」 <p>座談会</p> <ul style="list-style-type: none"> 加藤友規・牧田直子・沈悦・高宮さやか・坂水元也・栗原正博・栗野隆・上田裕文・水内佑輔「日本庭園に関する高等教育座談会」 <p>上記以外では、尼崎博正氏、井上剛宏氏、飛田範夫氏、内山貞文氏、水</p>

間洋子氏にご寄稿をいただいた。

本特集では、①日本庭園の継承と発展に関する総論、②日本庭園の「ところ」の世界、③日本庭園の「わざ」の世界、④日本庭園の展開、という4部の構成から本研究推進委員会の成果を公開することができた。

2. 2024 NAJGA International Japanese Garden Conference における成果公開

本研究推進委員会委員長の栗野隆が、アメリカテキサス州フォートワースで開催された北米日本庭園協会（NAJGA）の年次大会（2024年3月）に参加し、本研究推進委員会の活動の成果について報告した。

具体的なタイトル等は以下のとおりである。

- ・ セッション名：History of Japanese Gardens Lecture Series
- ・ 発表者と題目：Dr. Takashi Awano “Cataloging Waza as traditional Japanese garden techniques and skills”

本発表の内容は、2021・22年度に作成した日本庭園の「わざ」のツリーダイアグラムをブラッシュアップしつつ英文に翻訳し、180以上のわざの細目の目的・方法・手順・専門用語（庭師言葉）・伝承造園技術・技能としての評価を整理したシートを英文にて示したものである

本大会はアメリカ、カナダ、オーストラリア等における海外の日本庭園の所有者・管理者、技術者、技能者、設計者・研究者、ならびに日本の技術者・技能者・研究者が参加したが、日本庭園の伝承造園技術・技能のカタログの意義と重要性が、世界的な視野で共有できたと考える。

以上